



analytica China 2008



ファイナルレポート

第4回 国際分析技術・ラボテクノロジー・バイオテクノロジー
専門見本市・会議

2008年9月23日～25日
中国・上海新国際見本市会場

2008年9月25日

～史上最高の結果に！ 中国における重要なミーティングポイントへと成長～

Summary

- 出展・来場数ともに過去最高を記録
- 出展社からの高い満足度
- これまで以上に国際色豊かに
－全体の44%が中国国外からの出展
- 充実した会議プログラムも大好評のうちに終了
- 世界各国の協会団体とのパートナーシップを強化



Facts & Data

会 期	2008年9月23日(火)～25日(木) 午前9時～午後5時
会 場	中国・上海新国際見本市会場 (Shanghai New International Expo Centre <SNIEC>)
主 催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH) 国際見本市展示会サービス会社 (Internationaler Messe- und Ausstellungsdienst GmbH) 上海新国際見本市会場運営会社 (Shanghai New International Expo Centre)
規 模	全1.5ホール 約17,000㎡ (前回比50%増)
出 展 企 業	19ヶ国から342社 (2006年268社 / 前回比30%増)
来 場 者 総 数	13,146人 (2006年8,557人 / 前回比50%増)
専 門 分 野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術
主 な 出 展 品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィー・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー
出展日系企業 (現地支社・代理店出展含む)	アズワン(株)、(株)アタゴ、京都電子工業(株)、(株)資生堂、(株)島津製作所、ジャスコインターナショナル(株)、昭光通商(株)、東京理化学器械(株)、日本電子(株)、(社)日本分析機器工業会、(株)日立ハイテクノロジーズ、ヤマト科学(株)、(株)ワイエムシィ (50音順)
専 用 U R L	www.analytica-china.com (英語 / 中国語)

2008年9月23日から25日に、中国・上海新国際見本市会場で開催された analyticaChina 2008 では、前回に引き続き出展・来場数、出展スペース数ともに過去最高を記録した。この結果により、最も重要な成長市場である分析技術・機器、バイオテクノロジー、診断技術、ラボテクノロジー分野において、analytica China が中国、そしてアジア全体をリードする重要なミーティング・ポイントであることを明白にした。出展社数は前回より30%増の342社、出展スペースは、前回のおよそ1.5倍の17,000㎡となった。今回初めて IFAT China 2008（国際上下水処理・廃棄物処理・リサイクル・自然エネルギー専門見本市）と同時開催したが、このことが来場者数増加要因の一つとなった。analytica China 登録者9,091人、IFAT China からの来場者4,055人で、3日間の会期中に前回のおよそ1.5倍の13,146人が来場した。2002年の初回開催以来、今回来場者数が最多になったことから、中国を含むアジア各国で、グローバル企業の製品やソリューションの需要が高まっていると言える。今回も、これまで同様に、業界をリードするグローバル企業が多く出展した。また、スペイン、ドイツ、イギリスのパビリオンも出展し、全体の44%が中国国外からの出展と、非常に国際色豊かになった。

ミュンヘン見本市会社の常務取締役クラウス・デトリッヒは、「analytica 2008 が大成功を収めたことを非常に嬉しく思う。今回初めて IFAT China と同時開催したが、それによって出展社、来場者の両方へ付加価値を生み出すことができた」と確信している」と話している。

出展社からの高い満足度

今回初出展したジャスコインターナショナル株式会社の高田和久氏は、「予想をはるかに超える多く来場者に大変満足している。来場者は既存ユーザ、他社製品のユーザなど様々で、当社の製品を紹介するのに最適な場となった」と話している。同じく初出展の TESCAN 社 CEO の Jaroslav Klima 氏は、「当社のブースには、中国の潜在顧客だけでなく、シンガポール、フィリピン、タイなど近隣諸国のバイヤーなども多く訪れた」と国際性の高さを強調している。

一方で継続出展社からも、好意的な意見が多数聞かれた。今回で3回目の出展となった PerkinElmer 社の Daniel R. Marshak は、analytica China が中国市場における分析機器、ラボテクノロジー分野で最大の見本市であり、機器や技術の紹介の場として最適であると評価している。また、Shanghai Spectrum Instruments 社の Huachao Chen 氏は、analytica China 2008 が前回に比べて大幅に成長したと認識し、「多くの出展社が前回よりブースを拡大し、そして初出展の企業も多く見られる。見本市の運営がしっかりしており、当社は次回も必ず出展する」と話している。

中国におけるバイオテクノロジー分野の成長に伴い、今年この分野での出展が増えた。BioTek 社の Steven Fisher 氏によると、同社は3日間の会期中に、エンドユーザーや販売代理店など倍広く非常に多くの新しいビジネスコンタクトを得たという。

充実した会議プログラムも大好評のうちに終了

analyticaChina 2008 成功のもう一つの理由は、会議プログラムやイベントが充実していることで、今回これらのイベントに1,200人以上が参加した。

専門性の高さが評価されている中国化学会主催の「analyticaChina Conference」では、56人（33人は中国から、23人は中国国外から）の著名な専門家が品質管理、ラボ管理、プロテオミクス・メタボミクス、環境解析、質量分析、電気分析・センサー、食品・中国伝統医薬品安全などについて講義し、各方面から多くの聴講者が集まった。



クロマトグラフィにおける中国・ドイツシンポジウムの講演では、最新の研究開発傾向が取り上げられ、ドイツ、中国両国の著名な科学者が、クロマトグラフィ、分離、サンプル分析分野における近年の発展について解説した。

中国におけるプロテオーム研究の促進を目的に、「プロテオーム：基礎からアプリケーションまで」と題した会議が9月23日に開催されたが、analytica Chinaでこのトピックスを取り上げるのは初めてのことで、会議の主催は北京プロテオーム研究センターで、Qian Xiaohong教授が議長を務めた。

また24日にはthe Royal Chemical Societyが**Chemistry World China Lecture**というイベントを開催し、大学と企業との連携についてのディスカッションを行った。イギリスと中国の講演者が、最近のケーススタディを発表し、反響を呼んだ。

来場者だけでなく、多くの出展社もこれらの技術セミナーに参加した。島津製作所のCao Lei氏は、「全ての会議プログラムは非常に専門性が高く、国内外の大学や研究所から多くの科学者が参加しており、非常に有益である」と話している。

世界各国のパートナーとの強固な協力関係

analytica China成功には、世界各国のパートナーとの協力関係が欠かせない。中国国内ではBCEIAの主催者である中国分析試験協会(CAIA)や中国化学会などから、また国外からは、日本分析機器工業会(JAIMA)、インド・International Association for Impact Assessment (IAIA)、ドイツ・German Industry Association for Optical, Medical and Mechatronical Technologies (SPECTARIS)、イギリス・GAMBICA、そしてスペイン・Grufacからの強力なサポートを頂いている。

次回analytica Chinaは2010年9月に上海新国際見本市会場で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.analyticachina.com まで。

次回予告

「analytica Vietnam 2009」 2009年3月18日～20日 於：ベトナム・ハノイ
www.analyticavietnam.com

「analytica-Anacon 2009」 2009年9月29日～10月1日 於：インド・ハイデラバード
www.analytica-anacon.com

「analytica 2010」 2010年3月23日～23日 於：新ミュンヘン国際見本市会場
www.analytica.de

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4 三番町KSビル5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語/ドイツ語)